

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

紙流通業界のリーディングカンパニーとして、紙・板紙の安定供給を通じ循環型社会の構築に貢献する。

連結経常利益
220億円

ROE
8.0%以上

ROA
5.0%以上

ROIC
7.0%以上

2 中長期の経営戦略

1. グループの総合力活用

物流改革やDX推進、製紙加工・環境原材料セグメントとの連携で競合差別化を実現し国内卸売の収益最大化を推進

3. 高付加価値商材の拡大

サイン&ディスプレイ、パッケージ、軟包装、環境配慮型製品などの取り扱い拡大で収益源の多様化を追求

2. 海外M&A戦略

ドイツ・フランスでのM&A実施により欧州地域の在庫・物流網を拡充。補完的M&Aの継続で各市場のシェア拡大

4. 製紙加工での環境対応

古紙リサイクルから製紙・加工・流通までの統合体制で、木質バイオマス発電等によるCO2削減に取り組む

3 対処すべき課題

① 国内紙需要の縮小対応

- ・人口減少・デジタル化による紙需要縮小は継続と想定。紙の価値普及で需要すそ野の拡大を図る
- ・物流の小口化による販売コスト上昇への対応が急務
- ・板紙はインバウンド需要継続を期待できる領域として着目

② コスト上昇への対応

- ・原燃料価格・副資材・物流費等の更なる上昇が想定される
- ・効率的生産推進と徹底したコスト削減の継続実施が必須
- ・CO2削減・省力化への投資で競争力維持

③ プラスチックリサイクル対応

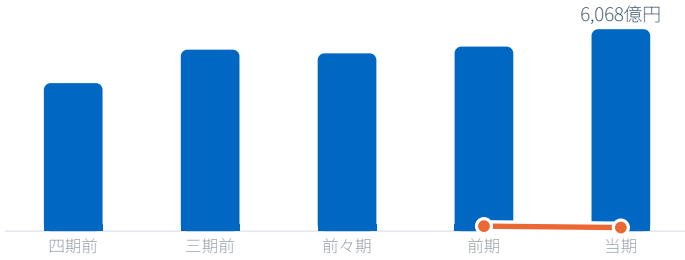
- ・プラ新法施行に対応するため熊本県内に第2工場建設を計画
- ・増量が予想されるプラスチック廃棄物のリサイクル需要に対応

面接で使えるポイント

- ・長期ビジョン2030『Paper, and beyond』で、紙流通業界のリーディングカンパニーを目指す事業展開が特徴。
- ・OVOL中期経営計画2026では連結経常利益220億円を掲げ、M&Aと既存事業の拡大で成長を加速。
- ・古紙リサイクル・バイオマス発電など循環型ビジネスで、持続可能な社会への貢献を経営の中核に位置づけている。

証券コード 8032

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
109億円営業利益率
99.6%財務健康度
24点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 49.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
890万円

卸売業内 43位/282社

平均年齢
44.7歳

卸売業内 71位/283社

平均勤続
20.5年

卸売業内 9位/282社

女性管理職
2.0%

卸売業内 180位/209社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本紙パルプ商事(株)【8032】：決算情報

